



交流会
第11回 検査センター杯
ソフトボール大会報告
 平成25年 5月26日
 ひろぎんの森グラウンドにて



去る平成25年 5月26日(日)、第11回検査センター杯ソフトボール大会が開催されました。大会開催にあたっては、準備等で不十分な点多々ありましたが、出場チームのご協力もあり、無事終了することができました。この場をお借りし、改めてお礼申し上げます。

以下に、対戦結果や参加チームからのコメントなど写真を交えながら紹介させていただきます。

■予選(リンク方式)

Aブロック	
1位	山崎病院
2位	一ノ瀬病院
3位	長崎病院

Bブロック	
1位	太田川病院
2位	広島パークヒル病院
3位	安芸市民病院

Cブロック	
1位	己斐ヶ丘病院
2位	広島第一病院
3位	検査センターA
4位	浜脇整形外科病院

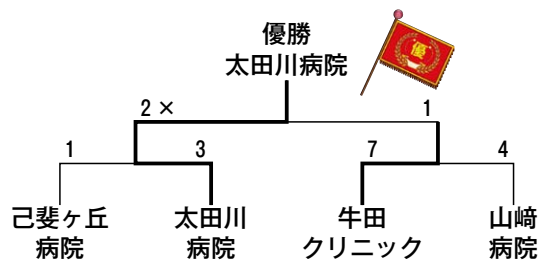
Dブロック	
1位	牛田クリニック
2位	安芸地区医師会
3位	検査センターB
4位	広島記念病院

今大会には14チームが参加しています。

予選は4ブロックに分かれてのリンク方式と呼ばれる対戦方法で、各ブロックの1位のみが決勝トーナメントに進めます。

決勝トーナメントにおける結果は右のとおりです。太田川病院“メタボリックス”が2年連続3回目の優勝を成し遂げました。

■決勝トーナメント



劇的サヨナラ勝ち！

【決勝戦スコアボード】

	1	2	3	4	5	6	7	計
牛田クリニック	0	0	0	0	0	1	—	1
太田川病院	0	0	0	0	0	2x	—	2

「選手宣誓！」



「真剣勝負！」



「ありがとうございました！」



◆ 優勝チーム(“メタボリックス”)コメント ◆

開会式での大道先生。『カープは「けんどちゅうらい剣砥挑来」、医師会へ「けんさちゅうだい検査頂戴』という深い話に、大会趣旨と優勝への第一歩を再認識。新ユニフォームで挑んだこの大会。接戦ばかりで、特に準決勝の己斐ヶ丘病院さん、決勝の牛田病院さんとの強豪相手の二試合は白熱した投手戦となり、ソフトボールの魅力を満喫できました。

チーム一丸となつての真剣勝負。同じ目標に向かい、互いを尊重し、自分の役割を果たす。まさに、私たちが携わる「チーム医療」そのもの。勝敗はどうであれ、仲間との大会参加は必ず病院でのサービス向上に繋がっていると思います。

大会運営にご尽力頂いた検査センターの皆さん、審判員の方々に感謝致します。3連覇狙います！



2年連続3回目の優勝を果たした
太田川病院“メタボリックス”

◆ 準優勝チーム(“サンタムール”)コメント ◆

毎年検査センターの皆様、このような素晴らしい大会を開催して頂き、感謝しております。今年で4回目の出場となりましたが、強豪チームが集う中、初の決勝進出が出来たことを嬉しく思います。決勝では、前年度優勝の太田川メタボリックスさんとの対戦でしたが、1点を争う白熱した試合となり、検査センター杯史上に残る熱戦だったのではないかと考えています。残念ながら、試合はサヨナラ負けでしたが、来年またこの舞台に戻りたいと今から燃えています。

そのためには、まずは検査を出し、熾烈な予選を突破し、出場権を得ること。そして来年は「検体数1番・検査センター杯優勝」の2冠が取れるように、また頑張っていきたいです。



今回で4回目の参加となる
ぎおん牛田病院附属
牛田クリニック“サンタムール”

今大会が、さらに交流を深める機会になったのであれば幸いです。

また来年も、検査センター杯でお会いしましょう！

(当検査センターチームとの練習試合もよろしくお願いたします。)